



過去・現在・未来  
多彩な“ロボット”が  
大集結!!

Special Exhibition

# きみと

You and Robots

# ロボット

What is it  
to be Human?

ニンゲンッテ、ナンダ？



日本科学未来館 | 東京・お台場 | 2022.3.18(FRI) - 8.31(WED)

Venue : Miraikan - The National Museum of Emerging Science and Innovation

開館時間 : 10:00 - 17:00 (入場は閉館の30分前まで)  
Opening Hours : 10:00 ~ 17:00 (Last admission 30 min. before closing time)

休館日 : 火曜日 (ただし3月22日~4月5日、5月3日、7月26日~8月30日の火曜日は開館)  
Closed : Tuesdays (Open on 22 March to 5 April, 3 May and 26 July to 30 August)

主催 : 日本科学未来館、朝日新聞社、テレビ朝日 協賛 : ソニーグループ、凸版印刷 後援 : 文部科学省、厚生労働省、経済産業省、産業技術総合研究所、日本科学技術振興財団、日本ロボット学会、人工知能学会、東京臨海高速鉄道、ゆりかもめ 協力 : 東急電鉄、東京モノレール 助成 : 在日フランス大使館 企画協力 : フランス国立自然史博物館



きみ口ボ展  <https://kimi robo.exhibit.jp/>  
 Twitter  Instagram: @kimitorobot  
 お問い合わせ : 050-5541-8600 (ハローダイヤル 全日 9:00 ~ 20:00)

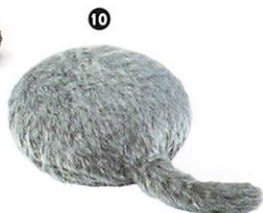
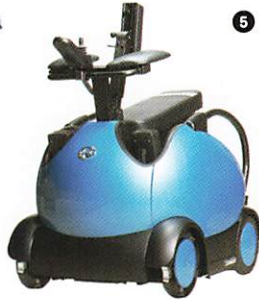
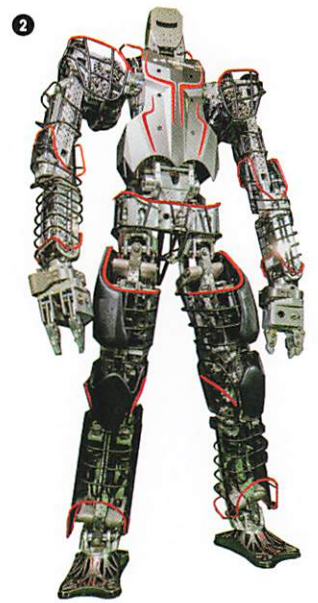
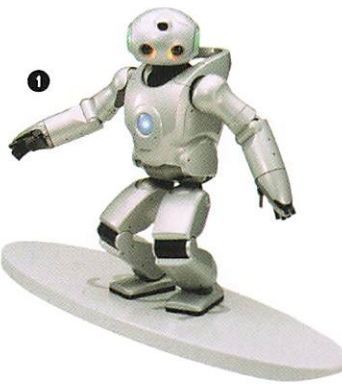


「ロボット」という言葉を作家カレル・チャペックが1920年に生み出してから、100年以上がたちました。

さまざまに発展・拡大を続けるロボット技術は、私たち人間にとってなくてはならないものです。工場などで活躍する産業用ロボットだけでなく、人間と同じように動く人型ロボットや、家族の一員のように感じられるパートナーロボット、写真や音声などのデータから生み出されるデジタルクローンまで、いまや「ロボット」のあり方はとても多様です。それはつまり、ロボットと人間の関係性が多種多様で複雑になってきたということなのかもしれません。私たち人間とはどのような存在で、どのような思いをロボットに抱き、今後どのような関係を築いていくのでしょうか。

本展では、過去最大規模となる多彩なロボットを紹介しつつ、「人間とはなにか？」を来場者とともに考えます。ロボットなど科学技術とどう向き合うのか、どのような未来を描くのか、多数のロボットを見たりふれたりインタラクティブな仕掛けを体験したりしながら、幅広い層に楽しんでいただける特別展です。

It has been more than 100 years since the word "robot" was coined by the writer Karel Capek in 1920. Robot technology, which continues to develop and expand in various ways, is indispensable for us humans. The definition, concept, and form of "robot" is now diverse, including not only industrial robots that are used in factories, but also humanoid robots that move like humans, partner robots that feel like a member of the family, and digital clones that are created from data such as photos and voices. This may mean the relationship between robots and humans has become more diverse and complex. What is human existence, what kind of feelings do we have for robots, and what kind of relationship will we build with them in the future? In this exhibition, we will introduce a variety of robots, the largest collection here to date, and think together with visitors what it is to be human, how do we deal with robots and other science and technology, and what kind of future do we envision.



1. QRIO (キュリオ) [ソニーグループ]
2. Kaleido (カレイド) [川崎重工業] ※4月29日より展示
3. OriHime (オリヒメ) [オリ研究所]
4. MetaLimbs (メタリムズ) [JST ERATO 視覚自在化身身体プロジェクト(東京大学 先端科学技術研究センター)/ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科]
5. RODEM (ロデム) [テムザック]
6. 零式人機 (れいしきじんき) ver. 1.2 (写真は ver. 1.0) [人機一体]
7. Charlie (チャーリー) [ヤマハ]
8. aibo (アイボ) [ソニーグループ]
9. LOVOT (らぼっと) [GROOVE X]
10. Qoobo (クオボ) [ユカイ工学]
11. necomimi (ネコミミ) [ニューロスカイ]
12. む〜 [豊橋技術科学大学 ICD-LAB]
13. レオナルド・ダ・ヴィンチ アンドロイド [大阪大学大学院工学研究科]

料金：【大人】19歳以上 2,100円(1,900円) 【中人】小学生～18歳 1,400円(1,200円) 【小人】3歳～小学生未満 900円(700円)

※( )内は8名以上の団体料金 ※常設展もご覧いただけます。 ※ドームシアターは別料金(要予約)。 ※2歳以下は無料、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料。 ※会場の混雑状況により入場整理券の配布、または入場を規制する場合があります。 ※会期等は変更になる場合があります。 ※チケット情報を含む最新情報は特別展公式サイトをご確認ください。 ※COVID-19対策のため、検温・消毒・マスク着用にご協力ください。

# Miraikan

日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-6  
TEL 03-3570-9151 FAX 03-3570-9150  
URL <https://www.miraikan.jst.go.jp/>

Miraikan - The National Museum of Emerging Science and Innovation  
2-3-6, Aomi, Koto-ku, Tokyo 135-0064, Japan  
TEL +81-3-3570-9151 FAX +81-3-3570-9150

- 新交通ゆりかもめ(新橋駅～豊洲駅)  
「東京国際クルーズターミナル駅」下車、徒歩約5分  
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線(新木場駅～大崎駅)  
「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分
- 都営バス「日本科学未来館前」下車、徒歩約1分
- Tokyo Waterfront New Transit YURIKAMOME (Shimbashi - Toyosu)  
5 minute walk from "Tokyo International Cruise Terminal station"  
4 minute walk from "Telecom Center station"
- Tokyo Waterfront Area Rapid Transit Rinkai Line (Shin-kiba - Ohsaki)  
15 minute walk from "Tokyo Teletop station"
- Tokyo Metropolitan (Toei) bus  
1 minute walk from "Nippon Kagaku Miraikan Mae"

